

松村 公彦(マツムラ キミヒコ)

生年月日/1962/9/10

出身地/兵庫県

趣味/車・ゴルフ

好きな言葉/不撓不屈

1962年神戸生まれ。

大阪芸術大学演奏学科打楽器専攻科卒業。

大学在学中より、大阪シンフォニカー（オーケストラ）打楽器奏者として活動。

マリンバを宮本慶子、打楽器を八田耕治の両氏に師事。1985年 神戸市に音楽教師として採用される。

1993年

石川県で行われた和太鼓フェスティバル『壱刻壱響祭』にマリンバ奏者として特別出演するが、そこで和太鼓に深く感銘を受け、勤務校である神戸市立神戸西高等学校で和太鼓部を発足する。

1995年

『和太鼓松村組』を発足させる。

マリンバやケーナなど、民族楽器を組み合わせたオリジナル曲の作曲を担当し、様々なジャンルとのセッションも積極的にやっている。

1996年

和太鼓奏者 林英哲氏プロデュースの大太鼓演奏ユニット『英哲風雲の会』に参加し東京国立劇場で行われた『日本の太鼓』など全国各地での演奏に参加した。

2000年

和太鼓協奏曲『飛天遊』で新星日本交響楽団と共演。

2001年

大阪サンケイホールにて三味線奏者 木乃下真市氏と共演し、三味線・尺八・マリンバを組み合わせた楽曲を新作発表し、高く評価を受けた。

また、日本テレビ系『スーパーテレビ』オープニングテーマ曲を担当するなど和太鼓だけでなく、作曲や技術指導、講演など幅広い活動を行っている。

2001年3月

神戸市教職を退職し音楽活動に専念している。

CD 「華蓮」「大連」「星祭」「華蓮2008」「神戸発」「碧空へ」

DVD

「風大陸」

「Jupiter」

「和太鼓松村組コンサート2012」

「松村公彦ソロコンサート2012」

「和太鼓松村組 北海道ツアー2012」

「和太鼓松村組 神戸公演2012“ 暁の聲” 」

を発表。

オーストラリア、オマーン、カタール、アラブ首長国連邦、ドイツ、韓国でも公演し好評を博す。

平成13年神戸市文化奨励賞、平成15年兵庫県芸術奨励賞を受賞。

神戸音楽家協会及び兵庫県音楽活動推進会議 会員。

令和2年

神戸市文化賞 受賞